

2022年度 中京大学チャレンジ奨励金 最終報告書

2023年 2月 5日

学部・学年 文学部三年

学籍番号

氏名 森下 新之輔

1. プロジェクト名

中京大学アクティブ・ラーニング〈キャラバン〉ー学びの楽しさを子ども達と共にー

2. 活動期間

2022年 7月 4日 ～ 2023年 3月 7日

3. 主な活動場所

中京大学、郡上市立高鷲中学校、八百津町立八百津中学校、
愛知県立熱田高等学校、弥富市立白鳥小学校、文化のみち二葉館、蒲郡市民会館

4. 参加者 67（学生13）名（「7. 参加者名簿」に参加者氏名等を入力してください）

5. 予算・使用経費等（足りない場合は各自で列を足してください）

費目	品名・内容	予算金額	執行金額
消耗品費	文房具、教科書、和紙、お香	135,800 円	55,166 円
旅費交通費	電車代、バス代、タクシー代、宿泊費	307,180 円	197,835 円
謝礼金,印刷費	講師費、チラシ作成費、活動報告書作成費	360,000 円	528,035 円
保険加入料	賠償責任保険	2,380 円	4,420 円
運搬費	郵送費	10,000 円	39,364 円
施設使用料	賃借料	10,500 円	10,700 円
その他	弁当代、コピー用紙	100,600 円	34,984 円
合計		926,460 円	870,504 円

※3月7日活動予定の執行分（活動報告会）も追記済み

6. プロジェクトの活動報告

◆プロジェクトにおける活動内容と目標
<活動内容> 中学校での授業実践、小学校・高等学校での AL 実践、文化施設等でのイベント開催 <目標> 活動を通して、現役の中高生や教員、社会人の意見に触れ、アクティブ・ラーニングの効果的な活用法について実践的に学び、研究する。 急激に変化していく社会の中で、新たな価値を生み出す力を育むことができるアクティブ・ラーニングという教育方法を、社会に広めていく。
◆中間報告時に抱えていた課題への対応結果
<中間報告時に抱えていた課題> コロナ禍で今後の活動に影響が生じる恐れがあること。 <対応結果> 考えられる様々な状況を想定し、速やかに対応できるようにした。
◆プロジェクトの目標達成状況（活動内容等を具体的に記入してください）
<達成状況> 自己評価による達成度：<u>94.5%</u> ・郡上市立高鷲中学校での実践 参加人数：1 年生 22 名、2 年生 34 名 1 年生で 1 時間、2 年生で 2 時間の授業を実践しました。内容は、「比喻についての理解」と「小説「盆土産」の読解」です。比喻を使って言いかえるアクティビティ、模造紙と付箋を使用して読解を深めるアクティビティ、シナリオ作り・ロールプレイを用いて登場人物の心情を探るアクティビティを行いました。 校長先生や教科担当の先生と密に連絡を取りながら、担当者 4 人を中心に何度も話し合いを重ね、授業を構想していきました。 ・八百津町立八百津中学校での実践 参加人数：A 組 33 名、B 組 28 名 3 年生の 2 クラスの授業を 1 時間ずつ担当しました。内容は「和歌の世界（万葉集・古今和歌集・新古今和歌集）を味わう」です。教科担当の先生と綿密に連絡をとりながら単元指導計画から構想し、全 5 時間中 4 時間を八百津中学校の先生が、最後の 1 時間をアクティブ・ラーニング研究会が行いました。それぞれの和歌について学び、得た知識を基に鑑賞文を作成し、共有することで和歌に対する見識を広げる、というアクティビティを行いました。

・短歌道場 IN 蒲郡

参加人数：70 名（AL 研含む）

蒲郡市文化協会と共催という形をとり、短歌の大会を開催しました。当日は中学生から社会人まで、幅広い世代が参加しました。大学短歌会なども多く参加し、とても白熱した大会となりました。企業に協賛いただいたり、著名な歌人に審査員をお願いしたり、雑誌や新聞に記事を書いていただくなど、多くの方との連携によって成立した大会となりました。

・愛知県熱田高等学校での実践

参加人数：18 名（AL 研含む）

熱田高等学校の文芸部・朗読家の石田麻利子様と、茨木のり子の詩を深く味わうイベントを行いました。初めに校長先生に茨木のり子について講演いただき、その後、文学作品を深く味わう「表出」としての朗読を行いました。知識を得た後に実践を通して学び深める、こういった構成はまさにディープ・アクティブ・ラーニングを活用したイベントであると考えています。

・文化のみち二葉館でのイベント

参加人数：29 名（AL 研含む）

「城山三郎『落日燃ゆ』を読む～対話を通して深める読書体験～」

文化のみち二葉館で城山三郎の『落日燃ゆ』を読み深めるイベントを行いました。文学部の酒井敏先生や二葉館の職員の方に助言をいただきながら、何度も読書会を重ね、イベントの内容を構想していきました。文学作品を読み深める方法やファシリテーターとしての力を身に付けることができました。

・弥富市立白鳥小学校での実践

参加人数：22 名（AL 研含む）

弥富市立白鳥小学校の現職教育に招いていただき、白鳥小学校の先生方と AL の模擬授業を行いました。内容は「小説「帰り道」の登場人物の心情理解」です。登場人物である「律」と「周也」それぞれになりきって日記を書き交流することで二人の心の交わりに考えを巡らす、というアクティビティを行いました。現役の教師に向けて授業をする、というのはとても緊張しましたが、チームで授業構想に取り組み、良い経験とすることができました。

・薫物体験のイベント

参加人数：40 名

「香り」から識る平安文学—アクティブ・ラーニングとしての薫物体験—

文学部の勝亦志織先生や「春香堂」小川栄一郎様協力のもと、香りから平安文学について考えるイベントを行いました。チャレンジ奨励金エントリー段階では、徳川美術館で行おうと考えていましたが、先方の都合もあり、学内で開催することになりました。当日は学内外から学生や教員、平安文学やお香に関心のある方が多く参加され、活気にあふれたイベントとなりました。

・活動報告集の作成

〈キャラバン〉で取り組んだ活動を全て纏めた活動報告集を作成しました。80 頁以上に及ぶ厚い報告集となりました。各プロジェクトの報告・研究成果はもちろん、使用した指導案や活動案、チラシ等も載せてあります。中京大学図書館、その他公立図書館に寄贈予定（2 月 5 日時点）ですので、興味ある方がいらっしゃればぜひ手に取っていただけますと幸いです。

・活動報告会「グランドフィナーレ」

AL 〈キャラバン〉最後の活動として、活動報告会を 3 月 7 日に行います。各プロジェクトの活動報告・振り返りに加え、朗読家の石田麻利子様を招いて、文学作品を深く味わう朗読体験をします。

◆改善点、やり残したこと

プロジェクトごとに中核となる担当者を 4 名決め、さらに 3 名の学生がサポートをする、という体制をとりました。実践が終了した後に、担当者全員で反省会をしたり、振り返りを書いてプロジェクトのグループラインで共有したりしました。そのため、同じプロジェクトの担当者同士では今後の課題や改善点を共有できたのですが、他プロジェクトの担当者とは得た知識を共有しづらいシステムになってしまったと思います。AL 研幹部の 5 名は全てのプロジェクトに中核・サポートのどちらかの形で参加したのですが、この 5 名はプロジェクトに取り組む際、過去のプロジェクトで培ってきた見識を活用していました。〈キャラバン〉実施中はとても忙しくバタバタしていたため、そこまで意識を向けることができなかったのですが、今振り返ると、〈キャラバン〉参加者全員が今後の課題や改善点を共有できるようにするともっと良かったと思います。

◆今回のプロジェクトを実施したことにより、どのような気づきを得たか

今回のプロジェクトを実施する中で、非常に多くの方と関わることができました。「プロジェクトの目標達成状況」で名前を挙げさせていただいた方々以外にも、多くの方と連携をとってプロジェクトは進んでいきました。そういった中で、関わった方々の専門性の高さに気づきました。

教師や歌人や朗読化や学芸員など、様々な職種の方と連携したのですが、どの方も自身の仕事にプライドを持って、高い専門性を活かして、私たちと向き合ってくださいました。例えば、八百津中学校の授業実践でお世話になった先生は、「どうしたら生徒が常に思考し続けながら授業に取り組むのか」ということを意識して授業に向き合うようにするということを打ち合わせの段階から教えてくださいました。このように、プロジェクトごとに様々な気づきを得ましたが、プロジェクト全体を総括して考えると、この専門性の高さ、というのが挙げられると思います。

◆今後チャレンジしていきたいこと

(例えば、成果の活用・利用について、次回のプロジェクト活動に向けての抱負、卒業してからの展望等、自由に記入してください)

私たち文学部アクティブ・ラーニング研究会のメンバーは、ほとんどが将来教員となって働きたいと考えています。今回のプロジェクトを通して得た知識や学びは、全て教員として働く際に生きる貴重な財産になると思います。今回のプロジェクトで行った授業実践は、まだまだ改善の余地があると思いますし、新たな授業実践につなげていくこともできると思います。研究会としての活動は続いていくので、授業実践・イベント開催で得た経験をもとに、今後も能動的に活動に取り組んでいきたいと考えています。また、今回の訪問先とは今後も関係を持ち続け、後輩たちと共に交流を続けていきたいと考えています。

◆実施結果（成果）

※必要に応じて写真・現物添付可。枠欄が足りなければ、追加してご記入ください。



高鷲中学校での授業実践で使用した板書



八百津中学校の生徒との交流



短歌道場決勝の様子



「朗読を通して得た気づき」を付箋に書き、模造紙に貼り纏める活動（熱田高等学校）



文化のみち二葉館でのイベントの様子



白鳥小学校での模擬授業の様子



薫物体験イベントの様子

2022 10 月 2 日 (日)
10:30~16:30 (受付 10:00~)

3人チームを組んで参戦!
 郡上で産声を上げた
 世代を超える無差別級歌合!

短歌道場

in 蒲郡

場所: 蒲郡市民会館 大会議室
 参加費: 無料 (交通費は自己負担です。)

【応募先】
 郵送: 〒466-8666 名古屋市中区八事本町101-2
 中京大学文学部小堀研究室内 AL 研究会事務局
 メール: yelkind@orhime.ne.jp のアドレスまで

【応募締切】 9月22日(木)

※裏面のエントリーシートに記入の上ご応募ください。
 ※ワードデータが必要な場合は、メールでご連絡ください。

主催: 中京大学文学部アクティブ・ラーニング研究会
 蒲郡市文化協会

その他:
 ・コロナウイルスの感染状況によっては、オンラインで実施することがあります。(準決勝から実施予定)
 ・参加チームが整い次第、ルールブックを送ります。

お問い合わせ先
 電話: 052-835-7713 (平日 12:00~16:00) メール: yelkind@orhime.ne.jp

短歌道場 IN 蒲郡のチラシ

城山三郎『落日燃ゆ』を読む

～対話を通して深める読書体験～

戦時中の文壇で唯一、A級戦犯となった広田弘毅を主人公とした小説『落日燃ゆ』。
 城山三郎は彼をどのような人物として描いたのか。小説と史実とを照らし合わせながら読み、
 対話を通して、この作品で伝えられた城山三郎の意図について考えを深めていく!!

○開催日/2022年12月10日(土)
 ○時間/13:30~15:00
 ○会場/文化のみち二葉館 1階大広間
 ○定員/30名※参加無料(要入館料)
 ○申込み締切り/12月3日(土)
 (申込み者多数の場合、抽選になります。)
 ※発表は12/5(月)になります。
 また、いただいた情報は抽選にしか使用しません。

主催: 中京大学文学部アクティブ・ラーニング研究会
 共催: 文化のみち二葉館(名古屋市旧川上貞奴邸)
 協力: 中京大学文学部日本文学科教授 酒井敏先生

○申込み&お問い合わせ先
 メールアドレス:
a120053@m.chukyo-u.ac.jp
 又は
 QRコードより申し込みください。

 ※氏名、電話番号を必ずご記入ください。

文化のみち二葉館
 【名古屋市旧川上貞奴邸】
 名古屋市中区楠木町3丁目23番地
 TEL/FAX 052-936-3836
 URL <https://www.futabakan.jp/>
 開館時間/午前10時~午後5時
 入館料/一般200円、中学生以下無料

交通のご案内
 名古屋駅より徒歩15分
 名古屋駅より徒歩10分
 名古屋駅より徒歩5分
 名古屋駅より徒歩2分
 名古屋駅より徒歩1分

文化のみち二葉館
 入館料無料! 一般200円~160円

文化のみち二葉館で開催したイベントのチラシ

「香り」から識る平安文学

—アクティブ・ラーニングとしての薫物体験—

日時: 2023年1月21日(土)
 時間: 14:00~15:30 (13:30開場)
 場所: 中京大学名古屋キャンパス5号館542教室
 主催: 中京大学文学部アクティブ・ラーニング研究会
 協力: お香の春香堂

講師
 お香の春香堂専務取締役
 小川榮一郎
 中京大学文学部教授
 藤亦志織

定員: 35名※参加無料
 申し込み期間: 12/1(木)~1/11(水)
 申し込み方法: グーグルフォーム(先着35名)
 ※ご記入いただきました個人情報は、本企画に関する連絡のみ使用し、
 関連機関の個人情報保護規定に基づき適切に管理します。


<https://forms.gle/D7jaDs9jBU6egkWz6>

薫物体験イベントのチラシ



短歌道場を取り上げた中日新聞の記事



中京大学アクティブ・ラーニング〈キャラバン〉参加メンバー